

## ■調査ご協力数

- ・モニター登録いただいた組合員数  
1,000名 (家族を含めて計 3,092名)  
Aグループ (健康調査のみ)  
: 13名 (家族を含めて計 36名)  
Bグループ (健康調査および市販後調査)  
: 987名 (家族を含めて計 3,056名)
- ・日々健康調査の回答組合員数  
929名 (家族を含めて計 2,878名)
- ・日々健康調査の回答のべ数 (家族を含めて)  
292,120名  
Aグループ (健康調査のみ)  
: 3,700名  
Bグループ (健康調査および市販後調査)  
: 288,420名
- ・最終アンケートの回答組合員数  
801名 (家族を含めて計 2,470名)

## ■調査項目

## 1) モニター登録

- ・グループAまたはグループBを選択し同意していただく。  
グループA: 日々の健康状態・症状等に関するアンケート調査に御協力いただける方  
グループB: グループAの健康調査に関するアンケートに加え、食品市販後調査(PMM)に使用する商品購入情報の提供に御協力いただける方
- ・本人および家族の年齢、性別等の登録

## 2) 本調査

- ・日々の症状等の入力  
下痢・嘔吐などの症状で病院を受診したまたは薬を服用した  
インフルエンザと診断された  
熱中症と診断された  
各症状(17項目)の有無  
(微熱、高熱、鼻水、咳、下痢、嘔吐、胃痛または腹の痛み、けいれん、目のかゆみ、発疹、熱中症症状、頭痛、のどの痛み、くしゃみ、皮膚のかゆみ、めまい、不眠)

## 3) 最終アンケート

- ・ 日常の環境に関して  
    オール電化、浄水器、食洗機、加湿器、空気清浄機の使用状況等
- ・ 症状や健康面に関して  
    黄砂の飛来による体調の変化等
- ・ 健康調査の感想 など

## ▽PMM調査の概要

2週おきに、グループBに登録された組合員の商品購入リストをパルシステム東京より提供いただき、賞味期限に基づき喫食可能食品を割り出す。

その商品と各組合員が日々入力された健康状態とを組み合わせ、健康被害が出ていないかを解析し、健康被害を起こしている可能性が高い商品がないかを詳細検討する。

検討結果は、随時奈良医大より日本生協連に報告する。

## ■パルシステム東京

	調査対象期間	解析終了	EARS 検出日数 (回)			Odds(-) 最大値			日本生協連へ 報告
			下痢 Gp	下痢 A1	嘔吐 A1	下痢 Gp	下痢 A1	嘔吐 A1	
第1報	5月16日～ 5月24日	6月7日	0	0	0	なし	なし	なし	6月11日 問題なし
第2報	5月16日～ 6月7日	6月20日	3	2	1	1.2	1.53	なし	6月24日 問題なし
第3報	5月16日～ 6月21日	7月4日	8	4	2	1.86	1.86	1.26	7月8日 問題なし
第4報	5月16日～ 7月5日	7月18日	8	7	4	1.86	1.86	1.26	7月22日 問題なし
第5報	5月16日～ 7月9日	8月1日	8	9	8	1.86	1.86	2.08	8月1日～ 8月7日 ※1別記
第5報 再解析	5月16日～ 7月26日	8月21日	9	10	10	1.87	1.87	2.08	8月12日 問題なし
第6報	5月16日～ 8月9日	8月22日	12	13	13	1.87	2.11	2.08	8月26日 問題なし
第7報	5月16日～ 8月23日	8月29日	17	18	13	1.87	2.67	2.0	9月2日 問題なし
第8報	5月16日～ 9月6日	9月12日	19	22	19	1.87	2.67	2.08	9月17日 問題なし
第8報 再解析	5月16日～ 9月6日	9月19日	23	21	21	1.87	2.67	4.16	9月19日～ 10月2日 ※2別記
第9報	5月16日～ 9月20日	9月26日	23	21	21	1.87	2.67	4.16	10月1日 問題なし
第10報	5月16日～ 9月20日	10月3日	23	22	21	1.87	2.67	4.16	10月7日 問題なし

※第6報は、解析が1週間遅れとなる

## ※1 別記 スイートポテト

下痢・嘔吐症状の家族内発生が複数見られたため、食中毒の可能性も考慮し健康被害の可能性を報告した

## ※2 別記 骨ぬきさばみりん干し

下痢・嘔吐症状の家族内発生が複数見られたため、食中毒の可能性も考慮し健康被害の可能性を報告した

## 【結果報告】

いずれの商品も、パルシステム東京から提供された組合員のお申し出情報に特段のものがなかったため、購入商品による健康被害によるものではないと判断し詳細なサンプル調査等は実施しなかった。

## ※用語について

- Odds (-)最大値：調査対象期間における分析対象商品リスト中のオッズ比（95%信頼区間の下限値）の中で、最大だった値。
- EARS 検出日数：EARS システムによって直近に対して症状の報告が急増したと判断された日数（アラートが出された日数）。
- Gp：分割グループ別
- A1：対象者全体

## 【到達点と課題】

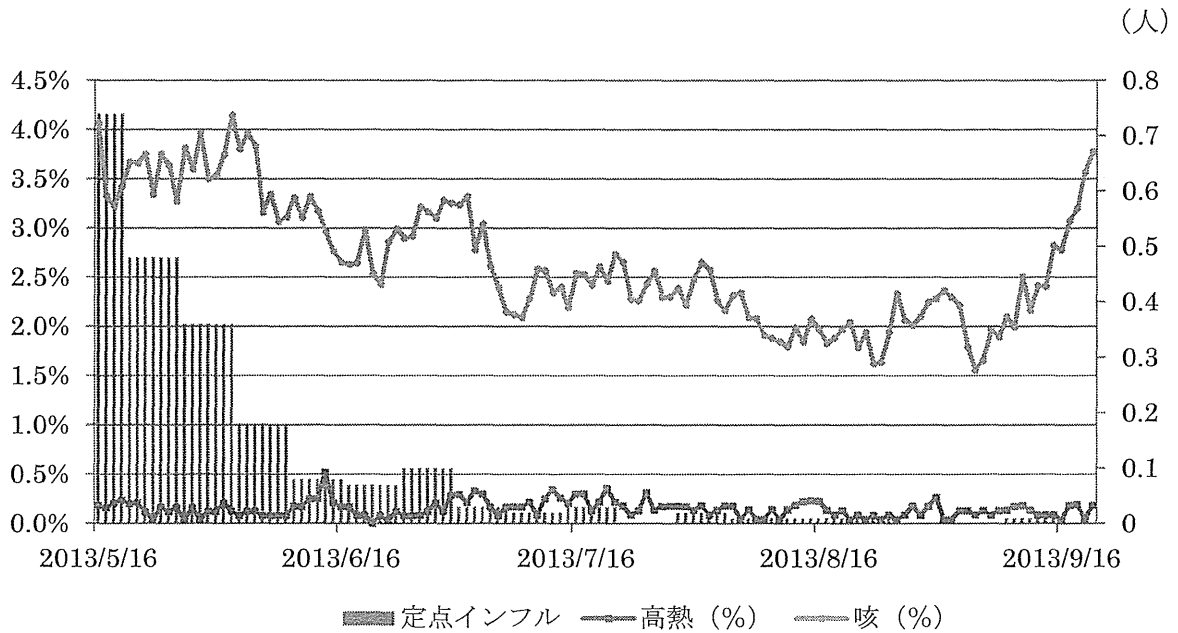
昨年度までは冬季を中心として健康調査および食品市販後調査（PMM調査）を実施してきました。

今回は食中毒発生のリスクが高い夏季を含めて従来よりも期間を長くして調査を実施致しました。

本研究で開発を試みているPMM調査システムの長期の運用は可能であることが今回の実施にて検証することができました。しかし、調査期間が長くなるにつれ、あるいは今回初めて実施した夏季調査という特徴のためか、ノイズ（食中毒以外による体調不良）の影響が大きくなることも判明し、今後の課題としてとらえることができました。

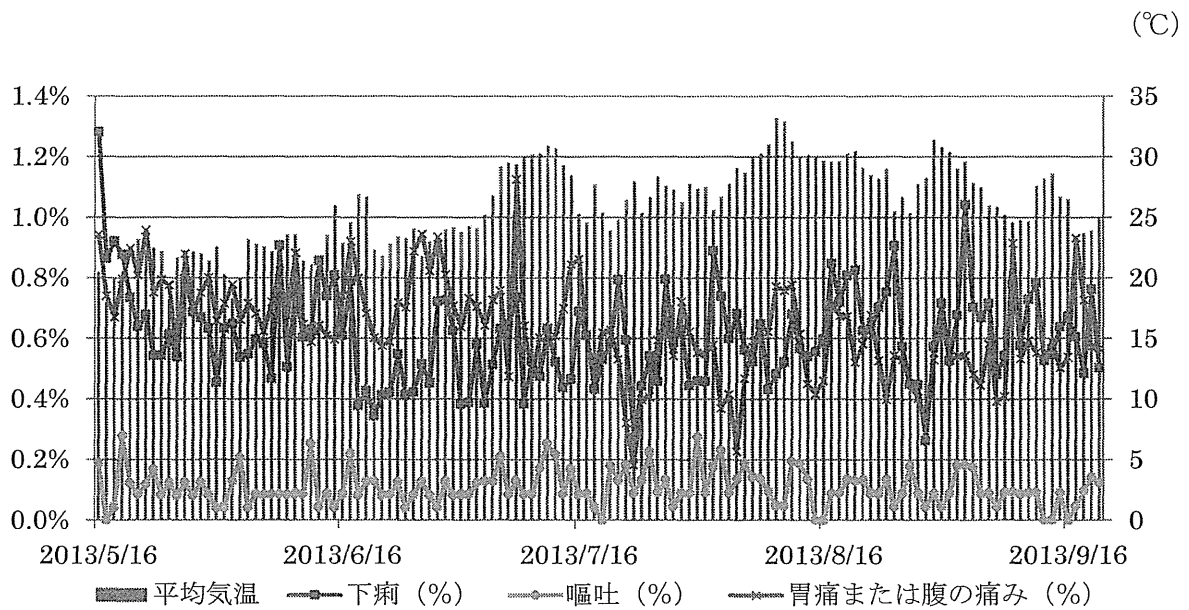
## ■データ集計速報

## 1) 定点あたりインフルエンザ報告数と各症状（高熱・咳）



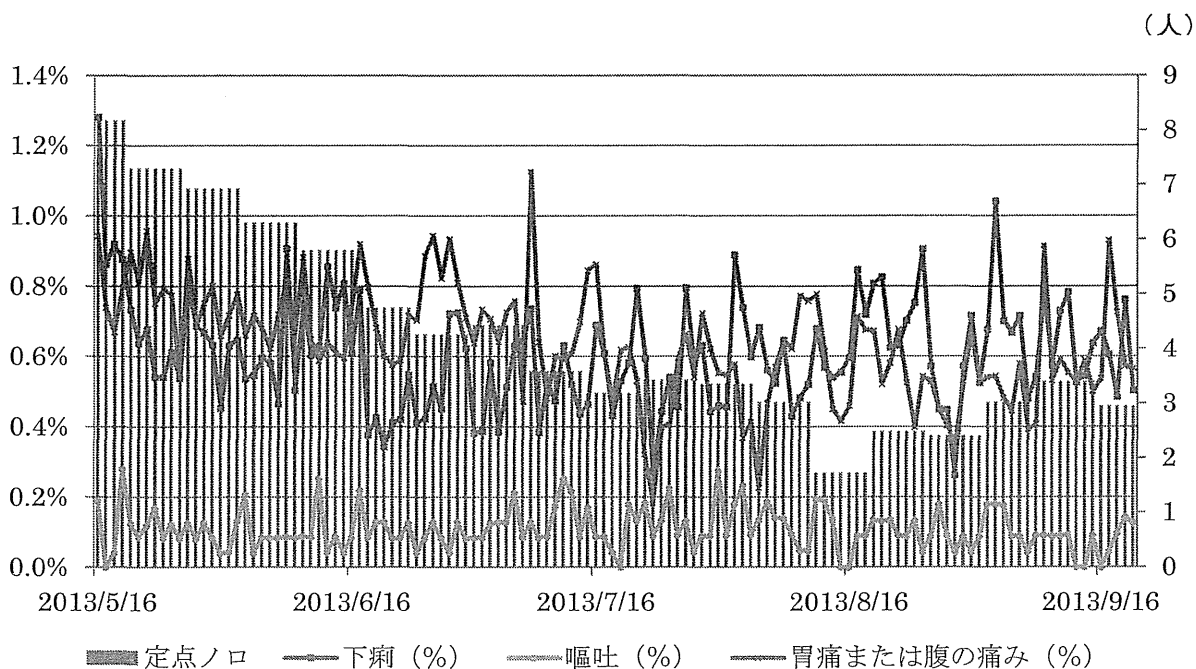
5～6月上旬にインフルエンザ報告はみられたもののその後は少なく、他の症状との関連もなかった。

## 2) 平均気温と各症状（下痢・嘔吐・胃痛または腹痛）



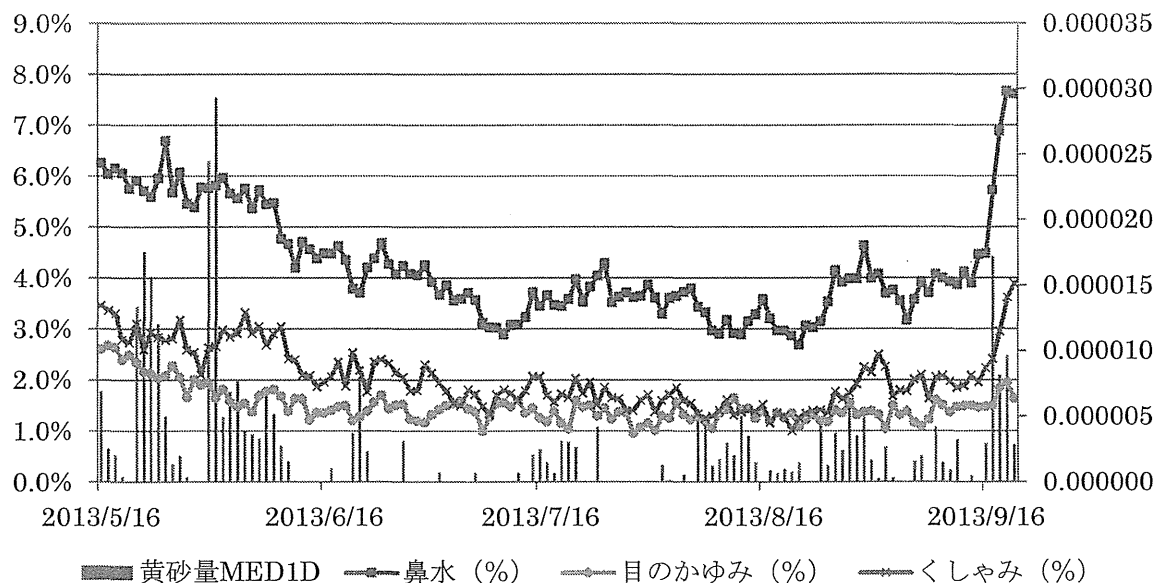
平均気温と下痢、嘔吐、胃痛または腹の痛みの間に明らかな関連は見られなかった。

## 3) 定点あたりノロ報告数と各症状（下痢・嘔吐・胃痛または腹痛）



定点あたりのノロ報告数と下痢、嘔吐、胃痛または腹の痛みの間に明らかな関連は見られなかった。

## 4) 黄砂量と各症状（鼻水・目のかゆみ・くしゃみ）



黄砂の量と鼻水の症状との間には関連がありそうである。より詳しい分析が必要である。

※黄砂MED1Dとは：国立環境研究所が計測している黄砂のデータより算出。その日の黄砂測定値の中央値。

## ■参考資料 (次ページ以降を参照)

## ・最終アンケートでの組合員様のアンケート調査に対する感想

- ① 集計
- ② 自由回答

## ・健康コラム「今日の一言」

## ・入力画面

- ① モニター登録画面
- ② 日々の症状入力画面
- ③ 最終アンケート画面

以 上

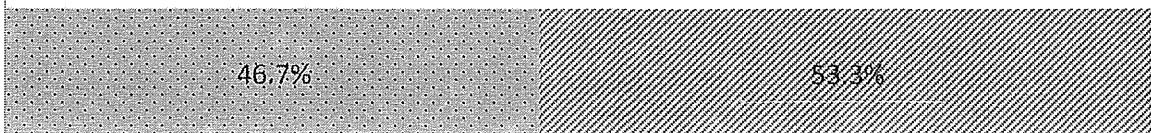
参考資料（パルシステム東京の組合員様より）  
最終アンケートでの組合員様のアンケート調査に対する感想（集計）

Q. 今回の調査結果は、地図に反映されるしくみになっていました。  
これについてどう思われましたか？



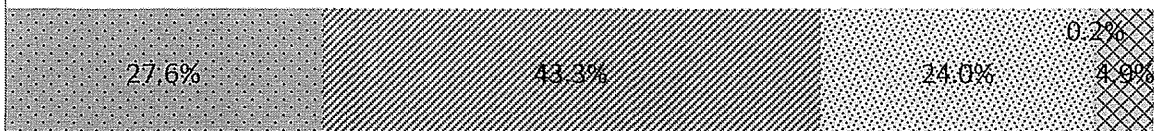
- 1: 自分の回答が反映され、面白かった
- 2: 自分の住んでいる地域の健康状態が分かり役に立った
- 3: 「過去の結果」ではなく「現在の状況」をリアルタイムで確認できるのは良いと思った
- 4: 地図に表示された情報は信じられないと思った
- 5: このような地図は不要である

Q. ポイントがつかなくても今後このような調査に協力したいと思いますか？



- 1: はい
- 2: いいえ

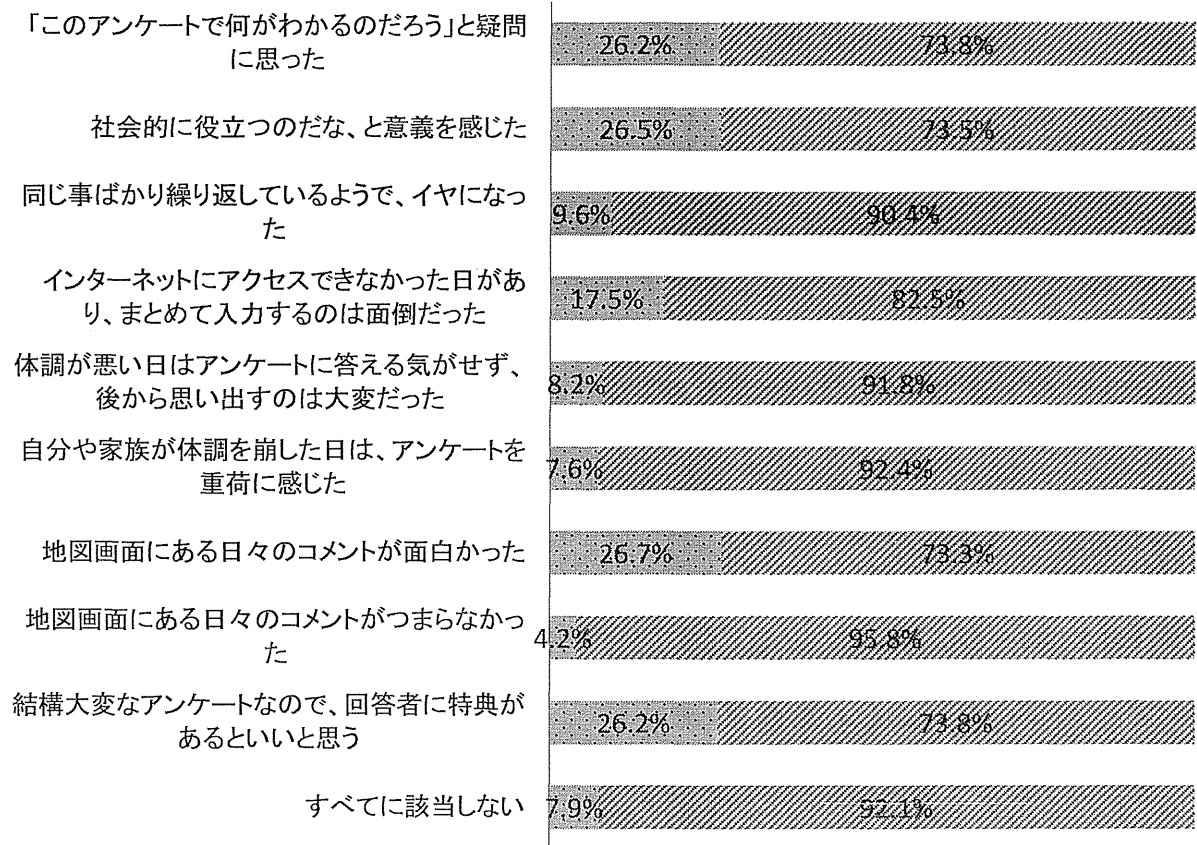
Q. 今後このようなアンケートを実施するとき、またご協力をお願いしますか？



- 1: ぜひ協力したい
- 2: 内容によってはやってもいい
- 3: ポイントがもらえるなら、やってもいい
- 4: もう二度とやりたくない
- 5: その時にしないと、わからない



Q. この健康調査のご感想をお聞かせください。(複数回答可)



■ 1: はい ■ 2: いいえ

## 参考資料 健康コラム「今日の一言」

毎日健康状態を答える、という単純で飽きてしまいやすい作業を組合員の方々に続けていただきやすいよう、週替わりでテーマを決めて、日替わりで健康に関する情報を健康コラム「今日の一言」でご提供させていただきました。

本文の執筆は、奈良県立医科大学健康政策医学講座の教員や大学院生(社会人院生を含む)、博士研究員で担当し、つなぎの文や季節のあいさつや Web へのアップは事務で分担して行いました。

	期 間	ハンドルネーム	テーマ
第1週	5月16日～	医師 A	はじめの挨拶・ダイエット
第2週	5月20日～	医師 S	在宅医療
第3週	5月27日～	看護師 K	マラソンでダイエットはできるのか？
第4週	6月3日～	看護師 K	マラソンは不健康になる！
第5週	6月10日～	大学教員 M	学校検尿
第6週	6月17日～	保健師 M	健康日本21(第2次)
第7週	6月24日～	保健師 W	紫外線
第8週	7月1日～	放射線技師 I	放射線
第9週	7月8日～	医師 T	検疫所ってどんなところ
第10週	7月15日～	保健師 K	更年期
第11週	7月22日～	看護師 T	看護職のワーク・ライフ・バランス(前半)
第12週	7月29日～	看護師 F	入院患者さんの一日
第13週	8月5日～	放射線技師 I	医療被曝
第14週	8月12日～	歯科医師 T	歯と口腔の健康
第15週	8月19日～	医療管理 Y	事務で行うベットコントロール
第16週	8月26日～	保健師 K	保健師の業務
第17週	9月2日～	看護師 T	看護職のワーク・ライフ・バランス(後半)
第18週	9月9日～	看護師 F	入院患者さんの一週間
第19週	9月16日～	医師 A	健康づくりのための3つのポイント
最終日	9月20日	医師 A	最後のお礼

---

---

2013年11月12日

インターネットを活用した健康調査報告（概要）

生活協同組合コープこうべ様

---

---

奈良県立医科大学 健康政策医学講座

今村 知明

赤羽 学

杉浦 弘明

## 生活協同組合コープこうべ様

この度は、平成 25 年度「インターネットを活用した健康調査」に御協力いただき誠にありがとうございます。また、日々の健康状態を入力いただいた組合員様にも深く感謝いたします。

つきましては、調査概要の速報について御報告いたします。

### ▽日々健康調査の概要

- 調査主体 生活協同組合コープこうべ
- モニター募集対象 生活協同組合コープこうべの組合員のうち  
募集定員 1,000 名
- 調査機構 奈良県立医科大学健康政策医学講座  
今村知明、赤羽学、杉浦弘明
- 調査期間
  - ・モニター登録の申込み期間  
平成 25 年 4 月 18 日～平成 25 年 5 月 13 日  
健康調査アンケートの実施と登録募集に関するメールマガジンを配信
  - ・本調査の期間  
平成 25 年 5 月 16 日 ～ 9 月 20 日
  - ・最終アンケートの回答期間  
平成 25 年 9 月 27 日 ～ 10 月 10 日
- モニター登録された組合員様への謝礼
  - ・登録時に 300 ポイントを付加する。
  - ・調査終了後に 200 ポイントを付加する。(ただし途中でモニターをやめた方には調査終了後の 200 ポイント付与はなし)

## ■調査ご協力数

- ・モニター登録いただいた組合員数  
1,000名 (家族を含めて計 2,997名)  
Aグループ (健康調査のみ)  
: 19名 (家族を含めて計 46名)  
Bグループ (健康調査および市販後調査)  
: 981名 (家族を含めて計 2,951名)
  
- ・日々健康調査の回答組合員数  
941名 (家族を含めて計 2,815名)
  
- ・日々健康調査の回答のべ数 (家族を含めて)  
303,711名  
Aグループ (健康調査のみ)  
: 4,836名  
Bグループ (健康調査および市販後調査)  
: 298,875名
  
- ・最終アンケートの回答組合員数  
846名 (家族を含めて計 2,513名)

## ■調査項目

## 1) モニター登録

- ・グループAまたはグループBを選択し同意していただく。  
グループA : 日々の健康状態・症状等に関するアンケート調査に御協力いただける方  
グループB : グループAの健康調査に関するアンケートに加え、食品市販後調査 (PMM) に使用する商品購入情報の提供に御協力いただける方
  
- ・本人および家族の年齢、性別等の登録

## 2) 本調査

- ・日々の症状等の入力  
下痢・嘔吐などの症状で病院を受診したまたは薬を服用した  
インフルエンザと診断された  
熱中症と診断された  
各症状 (17項目) の有無  
(微熱、高熱、鼻水、咳、下痢、嘔吐、胃痛または腹の痛み、けいれん、目のかゆみ、発疹、熱中症症状、頭痛、のどの痛み、くしゃみ、皮膚のかゆみ、めまい、不眠)

## 3) 最終アンケート

- ・ 日常の環境に関して  
オール電化、浄水器、食洗機、加湿器、空気清浄機の使用状況等
- ・ 症状や健康面に関して  
黄砂の飛来による体調の変化等
- ・ 健康調査の感想 など

## ▽PMM調査の概要

2週おきに、グループBに登録された組合員の商品購入リストをコープこうべより提供いただき、賞味期限に基づき喫食可能食品を割り出す。

その商品と各組合員が日々入力された健康状態とを組み合わせ、健康被害が出ていないかを解析し、健康被害を起こしている可能性が高い商品がないかを詳細検討する。

検討結果は、随時奈良医大より日本生協連に報告する。

## ■コープこうべ

	調査対象期間	解析終了	EARS 検出日数 (回)			Odds(-) 最大値			日本生協連へ報告
			下痢 Gp	下痢 AI	嘔吐 AI	下痢 Gp	下痢 AI	嘔吐 AI	
第1報	5月16日～ 6月8日	6月13日	4	6	5	2.50	2.82	なし	6月17日 問題なし
第2報	5月16日～ 6月22日	6月27日	6	10	7	2.45	3.35	なし	7月1日 問題なし
第3報	5月16日～ 7月5日	7月11日	11	12	11	2.45	4.1	なし	7月12日 問題なし
第4報	5月16日～ 7月19日	7月25日	15	18	15	2.45	4.1	なし	7月26日 問題なし
第5報	5月16日～ 8月2日	8月7日	16	17	15	3.20	3.20	なし	8月12日 問題なし
第6報	5月16日～ 8月16日	8月22日	19	20	16	3.20	3.20	なし	8月26日 問題なし
第7報	5月16日～ 8月30日	9月5日	24	21	19	3.20	3.20	なし	9月10日 問題なし
第8報	5月16日～ 9月13日	9月19日	25	28	28	3.20	3.20	なし	パル8報と同 時進行だった ため報告なし 問題なし
第9報	5月16日～ 9月20日	10月3日	25	28	31	3.20	3.20	なし	10/7(月) 問題なし

## 【結果報告】

第1報～第9報の5月16日から9月20日までの期間に関しては、健康被害を起こしている可能性の高い商品は発生していない。

## ※用語について

- Odds (-) 最大値：調査対象期間における分析対象商品リスト中のオッズ比（95%信頼区間の下限値）の中で、最大だった値。
- EARS 検出日数：EARS システムによって直近に対して症状の報告が急増したと判断された日数（アラートが出された日数）。
- Gp：分割グループ別
- A1：対象者全体

## 【到達点と課題】

昨年度までは冬季を中心として健康調査および食品市販後調査（PMM調査）を実施してきました。

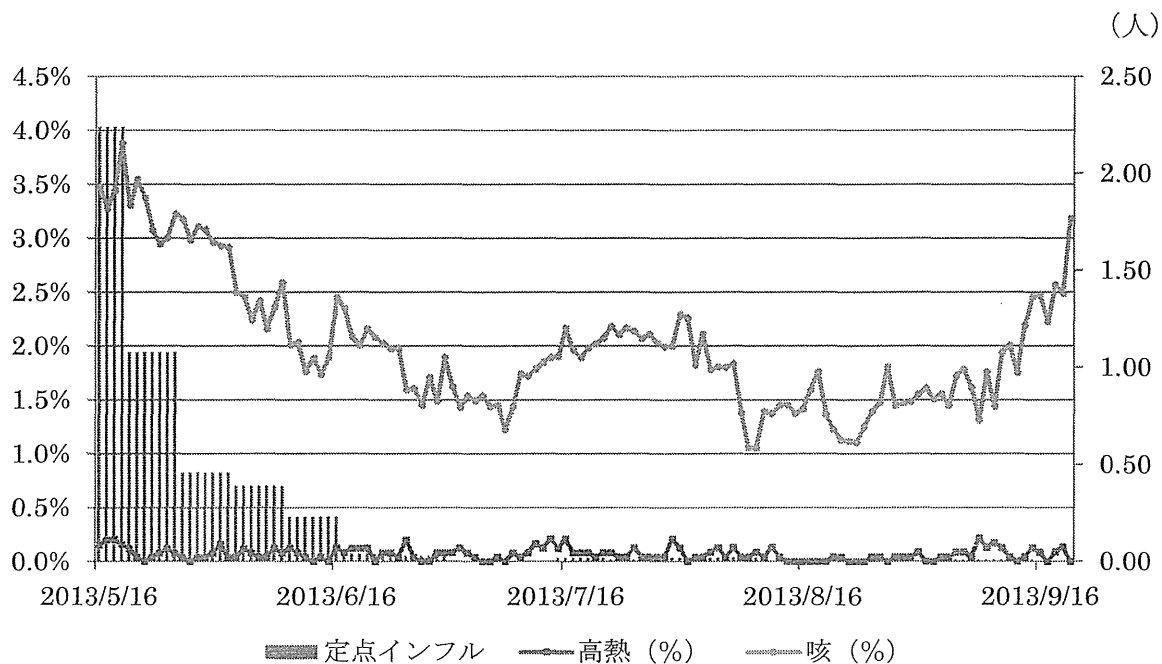
今回は食中毒発生のリスクが高い夏季を含めて従来よりも期間を長くして調査を実施致しました。

本研究で開発を試みているPMM調査システムの長期の運用は可能であることが今回の実施にて検証することができました。しかし、調査期間が長くなるにつれ、あるいは今回初めて実施した夏季調査という特徴のためか、ノイズ（食中毒以外による体調不良）の影響が大きくなることも判明し、今後の課題としてとらえることができました。



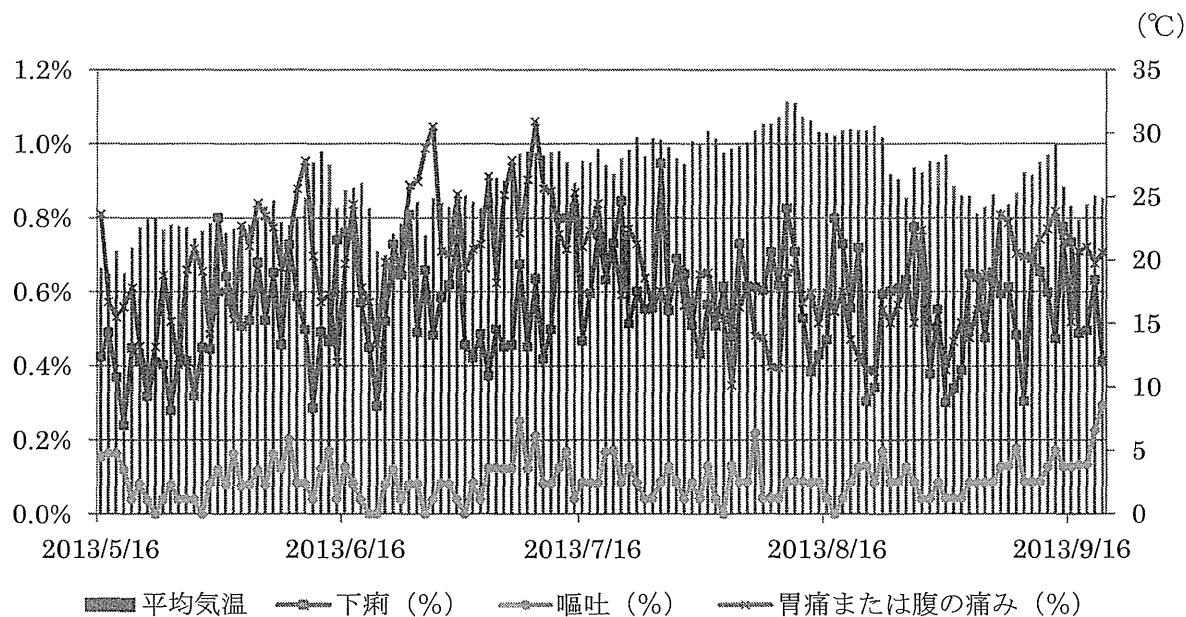
## ■データ集計速報

## 1) 定点あたりインフルエンザ報告数と各症状（高熱・咳）



5～6月上旬にインフルエンザ報告はみられたもののその後は少なく、他の症状との関連もなかった。

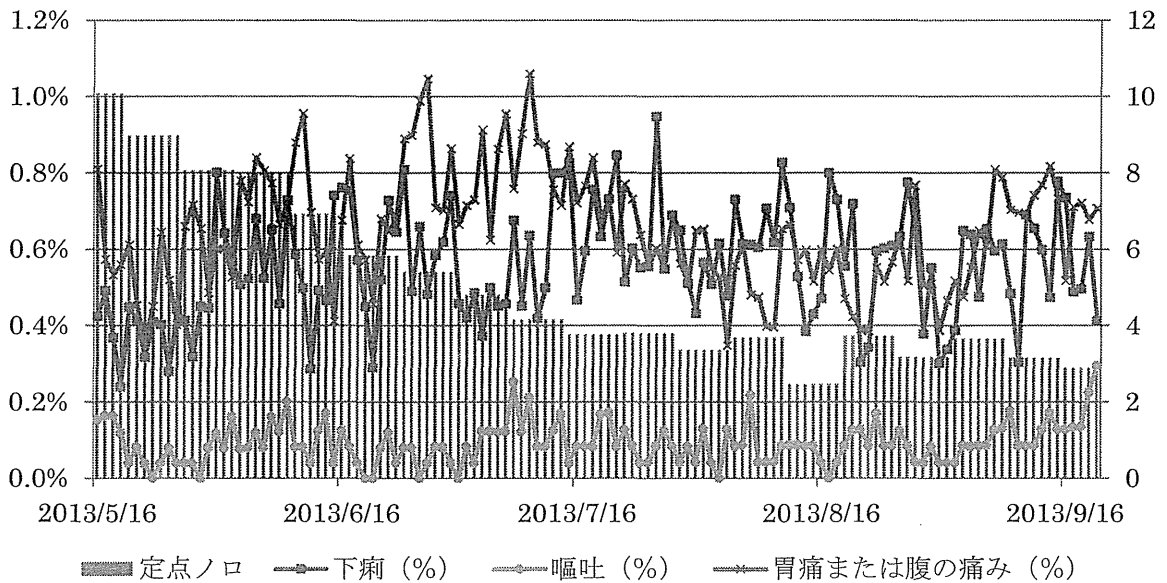
## 2) 平均気温と各症状（下痢・嘔吐・胃痛または腹痛）



平均気温と下痢、嘔吐、胃痛または腹の痛みの間に明らかな関連は見られなかった。

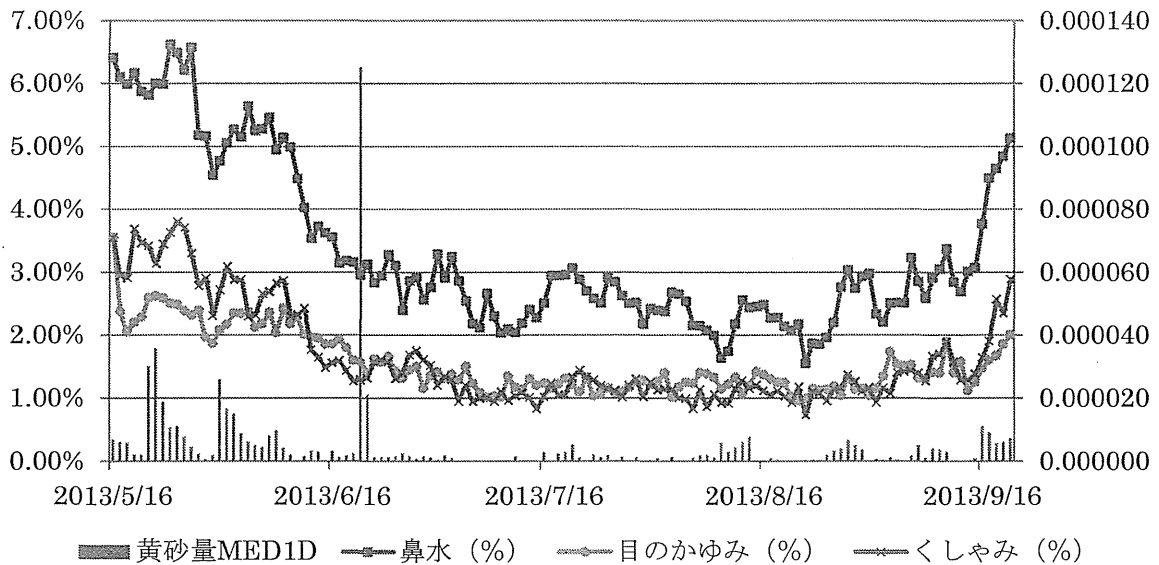
## 3) 定点あたりノロ報告数と各症状（下痢・嘔吐・胃痛または腹痛）

(人)



定点あたりのノロ報告数と下痢、嘔吐、胃痛または腹の痛みの間に明らかな関連は見られなかった。

## 4) 黄砂量と各症状（鼻水・目のかゆみ・くしゃみ）



黄砂の量と鼻水の症状との間には関連がありそうである。より詳しい分析が必要である。

※黄砂MED1Dとは：国立環境研究所が計測している黄砂のデータより算出。その日の黄砂測定値の中央値。

## ■参考資料 (次ページ以降を参照)

## ・最終アンケートでの組合員様のアンケート調査に対する感想

- ③ 集計
- ④ 自由回答

## ・健康コラム「今日の一言」

## ・入力画面

- ④ モニター登録画面
- ⑤ 日々の症状入力画面
- ⑥ 最終アンケート画面

以 上

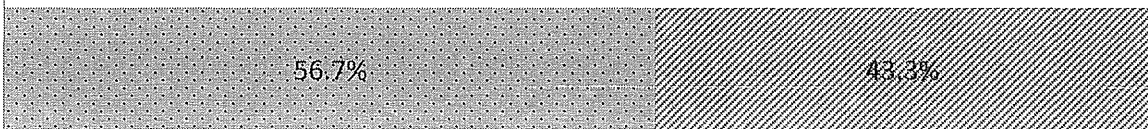
参考資料（コープこうべの組合員様より）  
最終アンケートでの組合員様のアンケート調査に対する感想（集計）

Q. 今回の調査結果は、地図に反映されるしくみになっていました。  
これについてどう思われましたか？



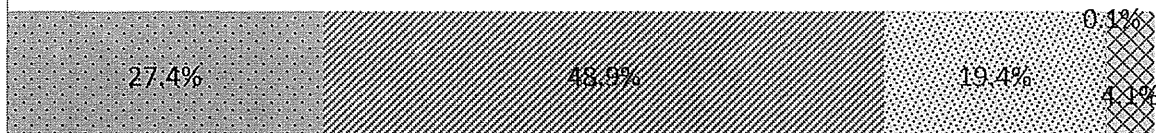
- 1: 自分の回答が反映され、面白かった
- 2: 自分の住んでいる地域の健康状態が分かり役に立った
- 3: 「過去の結果」ではなく「現在の状況」をリアルタイムで確認できるのは良いと思った
- 4: 地図に表示された情報は信じられないと思った
- 5: このような地図は不要である

Q. ポイントがつかなくても今後このような調査に協力したいと思いますか？



- 1: はい
- 2: いいえ

Q. 今後このようなアンケートを実施するとき、またご協力をお願いしますか？



- 1: ぜひ協力したい
- 2: 内容によってはやってもいい
- 3: ポイントがもらえるなら、やってもいい
- 4: もう二度とやりたくない
- 5: その時にならないと、わからない